

施策評価シート（平成28年度実績評価）

◎ 施策の基本情報

総合計画 中期プラン	政策No.	2-6	政策名	健康づくりの推進	政策の 目指す姿	心身ともに健康に暮らしてい ます	施策 主管課	健康づくり課	施策主管 課長名	及川牧雄
	施策No.	1	施策名	健康づくりの支援	施策の 目指す姿	健康に対する意識が高まって います	関係課名	生活環境課		
	現状と課題	<p>・健康づくりに関するアンケートによると、本市では30代男性で朝食を欠食する人が増えており、また、1日平均塩分摂取量は国の目標値より高くなっています。</p> <p>・県民生活習慣実態調査によると、運動習慣のある者の割合が増え、1日の平均歩数も増加しています。しかし、男性の肥満は横ばいとなっています。</p> <p>・口腔の健康は、食事や会話を楽しむなど、日常生活を送るうえで重要な役割を果たしていますが、歯肉炎や歯周病の患者者は増加傾向にあります。</p> <p>・市民の死亡原因の第1位は「がん」であり、特にも大腸がんは、女性の死亡割合が高くなっています。また、死因の第2位は「心疾患」、第3位は「脳血管疾患」となっています。市民のだれもが自分の健康に関心を持ち、生活習慣病の予防・早期発見をしていくことが大切です。</p> <p>・毎年数十人の方が自ら命を絶っており、悩みをかかえる市民をサポートしていく必要があります。</p>								

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組実績

<p>(1)健康づくりの取組の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○食事や運動、心身の健康の知識などの普及啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ会議と協働で健康アップ講座を開催 ○医師会など関係機関と連携した健康相談の実施、相談機関の普及 <ul style="list-style-type: none"> ・自殺予防対策としてゲートキーパー養成講座を実施するとともに「こころの体温計」サイトを運用 ○歯科口腔保健に関する知識などの普及啓発と歯科健診の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・歯科保健大会の開催と成人歯科健診(30、35歳)や歯周病予防検診(40、50、60、70歳)の実施 ○運動教室や食育講座などの開催 <ul style="list-style-type: none"> ・食育講座や親子の料理教室を開催 <p>(2)生活習慣病の予防の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生活習慣病予防の普及啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・医師会の協力のもと保健大学を開催 ・大迫生活習慣病対策30周年記念事業を開催 ○健(検)診の実施と受診しやすい環境づくり <ul style="list-style-type: none"> ・無料クーポン券により女性特有のがん(子宮頸がん・乳がん)を受診勧奨 ・35歳節目健診により若年者に受診勧奨 ・ピロリ菌検診(20、25、30、35、40歳)の実施 ○感染症予防の推進 <ul style="list-style-type: none"> ○予防接種の実施と普及啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・B型肝炎予防接種が定期接種となり、こどもインフルエンザに市単助成したほか、狂犬病予防などを実施 	
--	--

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測 ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握す るのか)	単位	数値 区分	H23	H24	H25 (基準年度)	H26	H27	H28
食事に気をつけている 市民の割合(C-2)	自分自身の健康維持・増 進への取組として、普段 から食事に気をつけてい るかどうかを示す指標	出典:市民アンケート(毎年4月実 施) 問:《健康管理》あなたは、健康管理 について、日常生活の中で取り組 んでいることがありますか。 (1)～(10)のなかで(4)食事に気をつ けている (4)を選んだ市民の割合	%	目標値				53.4	55.2	57.0
				実績値	51.5	51.2	51.9	53.0	55.2	52.7
健康増進のために意 識的に運動をしている 市民の割合(C-2)	自分自身の健康維持・増 進への取組として、意識 的に運動しているかどう かを示す指標	出典:市民アンケート(毎年4月実 施) 問:《健康管理》あなたは、健康管理 について、日常生活の中で取り組 んでいることがありますか。 (1)～(10)のなかで(3)健康増進の ために意識的に運動している (3)を選んだ市民の割合	%	目標値				32.7	34.6	36.5
				実績値	29.9	28.0	30.1	30.7	32.5	30.2
定期的健康診断など を受けている市民の 割合(C-2)	自分自身の健康維持・増 進への取組として、定期 的に健康診断を受診して いるかどうかを示す指標	出典:市民アンケート(毎年4月実 施) 問:《健康管理》あなたは、健康管理 について、日常生活の中で取り組 んでいることがありますか。 (1)～(10)のなかで(1)定期的に健 康診断を受けている (1)を選んだ市民の割合	%	目標値				62.6	63.6	64.6
				実績値	58.2	60.9	61.5	70.0	72.2	71.5

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
C	<p>■成果指標「食事に気をつけている市民の割合」・・・【達成度 b】</p> <p>・H23からH27にかけて順調に推移してきたが、H28は減少したことから、食事に気をつける気持ちが薄れてきたものと考えられる。</p> <p>■成果指標「健康増進のために意識的に運動をしている市民の割合」・・・【達成度 c】</p> <p>・H23からH27にかけては順調に推移してきたがH28は減少したことから、運動に関する意識が薄れてきたものと考えられる。</p> <p>■成果指標「定期的健康診断などを受けている市民の割合」・・・【達成度 a】</p> <p>・H23からH28にかけて順調に推移していることから、生活習慣病予防の取組の成果が現れていると考える。</p>

4 施策を構成する事務事業一覧

番号	事務事業名	担当課	施策への貢献度	
	事業内容(実績)		直結度	成果
1	健康教育相談事業	健康づくり課	A	C
	健康相談や健康教育を実施 (健康だと思う市民の割合 H27 58.7%→H28 60.2%)			
2	健康づくり推進事業	健康づくり課	B	C
	保健推進委員による地域への普及啓発を実施 (保健推進委員の事業協力者数 H27 1,413人→H28 1,562人、献血本数 H27 4,291本→H28 3,919本)			
3	食生活改善推進事業	健康づくり課	A	B
	食生活改善推進員により減塩指導を実施 (食事に気を付けている割合 H27 55.2%→H28 52.7%)			
4	健康診査事業	健康づくり課	B	C
	各種がん検診を実施 (大腸がん H27 35.8%→H28 34.6%、乳がん H27 38.5%→H28 40.0%、 子宮頸がん H27 34.8%→H28 32.1%)			
5	歯科保健事業	健康づくり課	B	C
	成人歯科健診、歯周病予防検診を実施 (受診率 H27 16.2%→H28 15.2%)			
6-1	感染症予防対策事業	健康づくり課	B	B
	予防接種法により各種予防接種を実施 (日本脳炎の接種率 H27 100.9%→H28 81.2%、BCGの接種率 H27 100.0%→H28 102.5%)			
6-2	感染症予防対策事業	生活環境課	B	B
	狂犬病予防法により予防接種を実施 (狂犬病予防の接種率 H27 89.2%→H28 90.0%)			
7	国保制度健全運営事業	健康づくり課	A	C
	特定健診と特定保健指導を実施 (特定健診受診率 H27 50.9%→H28 49.0%、特定保健指導対象者割合 H27 12.8%→H28 13.5% 特定保健指導参加者率 H27 19.7%→H28 23.3%)			
8	大迫生活習慣病対策30周年記念事業	健康づくり課	A	-
	「大迫家庭血圧測定事業」を通して健康づくりの意識の普及啓発を図るため記念講演会を開催 (記念講演会入場者数 874人 目標 1,000人)			

5 施策を構成する事務事業の検証

(①市民ニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストのわりに成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか)
なし

(施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか)

・健康教育相談事業は、施策の目標達成(健康づくりの意識啓発)に直結することから、更なる啓発の必要がある。
・健康づくり推進事業、健康診査事業、国保制度健全運営事業(特定健康診査)は、前年に比較して高くなっている指標も多いことから、健康に対する関心が高まりつつあると考えられ、成果指標としては目標値を達成できなかったため、更に啓発、推進する必要がある。

(新たに取り組むべき事業はないか)

なし

6 施策の総合的な評価

(課題)

・国保加入者における生活習慣病の疾病別医療費の第1位は「高血圧」なので、血圧をリスクとする「脳卒中予防」対策の取組みが必要。
・がん検診や特定健診の受診率が目標値に届かないため、「受診率向上」対策の取組が必要。

(今後の方向性)

・脳卒中予防対策については、食生活改善推進員との連携により地域に根付いた活動を推進し、講座、講習会を通して正しい食生活の指導、食生活の改善について意識づけを行い減塩指導などによる生活習慣病対策と要注意者に対する重症化予防対策を組み合わせ継続的に展開する。
・若い世代を中心に食育講座を市内全地域へ周知し、次世代につなげる健康づくりを推進する。
・ピロリ菌検診及び特定健診の未受診者に対し個別に受診勧奨を行うことにより受診率の向上を図り、各種疾病の早期発見、早期治療を目指す。
・がん検診や特定健診はこれまで、土日健診や夕方健診の実施により受診しやすい環境を作ってきたが、今後はより受診しやすい体制の整備や健診未受診者の受診勧奨により受診率の向上を図る。